

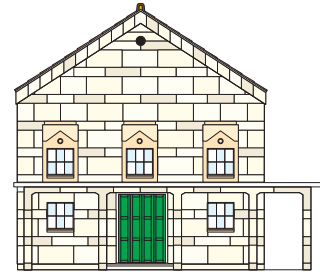
Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2018-08-01

APM news 195

秋山孝ポスター美術館 長岡

国の登録有形文化財・長岡市都市景観賞受賞・金庫扉と雁木のある美術館



〒940-1106 新潟県長岡市内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第27回企画展 秋山孝ポスター展10

秋山孝の神秘4 「印刷すること」「手描きすること」3



【「手描きすること」の秘密】

「手描きすること」はキャンバスや紙と絵の具の関係性をよく考えなければならない。その作品は、上質な絵画技術と材料を使い、独自の彩色技法を駆使しキャンバスや紙に描く。よってオリジナル作品として魅力性を増す。さらに、「手描きすること」にしかできない卓越した描写技法を発見することになる。表現の広がりや深さは遙かな地平に向かって進む。時代を経て生き延び続ける上質な品質を持つ作品は、稀に見る技術と芸術性を垣間見ることができる。その経験は、人々の心に深く感覚的に入り込む。

「印刷すること」と「手描きすること」には類似する点多々あるが、比較するということ自体が意味の無い比較なのかもしれない。

そこで、比較することに意味のない比較とぼくは言ったが、やはり比較しなければ手描きから生まれた手描き表現の違いを認識することはできないだろう。

【歴史的な視点から見る絵画表現の変遷】

絵画表現の歴史的背景から見る視覚的な違いからアプローチした絵画技法を明確にしたい。

2つの方向性から考えてみたいと思う。1つは「歴史の流れから見た技法の変遷」、2つめは「材料から見た時代的変遷について」である。しかし、技法と材料は持ちつ持たれつの関係であって、分かりやすく分類される訳ではない。また、西洋と東洋の絵画技法の違いもあるのでそのあたりは容赦して欲しい。

原始から始まるとするとまずは2つのことが考えられる。その1つが「絵で伝えたいメッセージ」、2つめが「どのようにその絵が画面に定着するか」が挙げられる。つまり、恒久的に絵のメッセージとして発信し続けたいということだ。これは現在までそのままの構造として成り立つものである。まず原始の場合は、いたる所に描かれたり彫り込まれたりしながらその絵のメッセージを伝える技法としてスタートをきった。しかし、いたる所に描いてもメッセージは定着せずに消え去っていった。ただし、洞窟のような野外の自然界から隔離された場所に描いたものに関しては、現在まで長期間に渡り生き延びたものがある。だが、雨や風などの自然災害と人為的に消去されたものもある。

秋山 孝 (APM館長・多摩美術大学教授) 【▶次号へつづく】